
 <p>市長 鈴木 有</p>	<p>千葉県</p> <h1>野 田 市</h1> <p>～人のつながりがまちを変える～</p> <p>みんなでつくる 学びと笑顔あふれる コウノトリも住めるまち</p>	<p>【データ】 ※平成30年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口：154,348人 ・世帯数：67,122世帯 ・面積：103.55km² ・野田市の花：つつじ 木：けやき ・特産物：しょうゆ、枝豆、せんべい ・主な健康イベント 野田市健康づくりフェスティバル (野田会場・関宿会場)
 <p>野田市 市章</p>		

●野田市の紹介

野田市は、千葉県の北西部で関東平野のほぼ中央に位置しており、市の東を利根川、西を江戸川、南を利根運河に囲まれた水と緑に恵まれた地域です。

当地は、古くからこの水の恵みを活用してきました。北部は大都市江戸への玄関口であり、重要な川の関所が設けられた関宿藩の城下として、南部は江戸っ子の食文化を支えた醤油醸造業を中心に、文化と歴史が豊かに発展してきました。

このように、自然や歴史、文化が調和しながら発展してきた野田市には、多くの名所や史跡などが数多く点在しています。

人口15万4千人の中堅都市として健康・福祉の増進を推進するとともに、豊かな自然環境を将来の子どもたちに継承するため、自然環境の保護・再生に意欲的に取り組んでいます。

自然と共生する地域づくりのシンボルであるコウノトリは6年連続でヒナが誕生しており、現在は、5羽のコウノトリが日本各地の空を飛んでいます。コウノトリの位置情報は、野田市のホームページから確認することができます。



[自然と共生する地域づくりのシンボルコウノトリ]

●健康都市の取組み

○野田市健康づくり推進計画21

野田市では、平均寿命の延伸、健康寿命の延伸、生活習慣病の改善及び子どもの健やかな成長を基本目標に『野田市健康づくり推進計画21』を策定し、第2次計画においては、成人の生活習慣改善に関する9分野（栄養・食生活、身体的活動・運動、休養・こころの健康、たばこ、アルコール、歯の健康、糖尿病、循環器病、がん）に母子保健を加えた10分野について取り組んでいます。

●介護予防10年の計

野田市では、平成29年度より「介護予防10年の計」として長期的な視点で、介護予防に関する知識の向上を目指し、「シルバーリハビリ体操」、「のだまめ学校」、「えんがわ（通いの場）」、「市民ボランティアの育成」、「介護予防サポート企業」、そして「広報戦略」の六

つの戦略を柱とした新たな一般介護予防事業を実施しています。健康寿命を延ばし、元気な高齢者が増え、要介護・要支援者の少ない「元気で明るい家庭を築ける野田市」を推進しています。

◎シルバーリハビリ体操

「介護予防10年の計」の中心となるシルバーリハビリ体操は、身体能力が低下した高齢者でも無理なく行える92種類の体操です。指導士となった市民が地域の市民を指導する仕組みのため、多くの専門職を必要としません。この取組は、茨城県で10年の実績があり、多くの指導士を養成することで軽度の要介護認定率が抑制されたというデータがあります。野田市では、33年度までに指導士500人の誕生を目指し、体験教室での周知や指導士養成講習会を開催しています。



【自由参加のシルバーリハビリ体操体験教室】



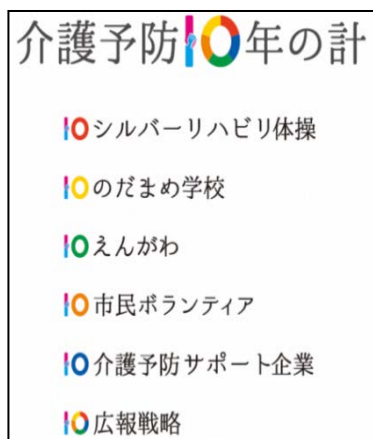
【のだまめ学校は、本講座や出前講座を開催】

◎のだまめ学校

運動、栄養、社会参加の知識を身につけていただく介護予防教室です。保健センターで行うさまざまな本講座を中心に、スーパーなどで実施する出前ミニ講座や、要望に応じて自治会館などで行う出前講座を通じて介護予防の大切さをPRしています。

◎広報戦略

29年度に「介護予防10年の計」のロゴマーク、普及啓発ポスター、プロモーションビデオを作成したほか、普及啓発イベント「つなげ手」フェスタを市内の総合公園体育館で開催し、介護予防の大切さを訴えました。今後も、作成したロゴ、ポスター等を利用し、イベントやホームページなどで呼びかけます。



【六つの戦略をロゴマークで表現】



【市民が登場した普及啓発ポスター】

【担当 野田市役所 保健福祉部 保健センター TEL 04-7125-1188】